

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（8月12日9時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (8月12日7時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,341 mm (8月11日16時から35 mm上昇)	O.P.+ 3,323 mm (8月11日16時から9 mm下降)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 2,732 mm (8月11日16時から10 mm上昇)	O.P.+ 3,350 mm (8月11日16時から30 mm上昇)	O.P.+ 3,302 mm (8月11日16時から19 mm下降)	O.P.+ 3,292 mm (8月11日16時から6 mm下降)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,334 mm (8月11日16時から変化なし)	O.P.+ 3,558 mm (8月11日16時から30 mm上昇)	O.P.+ 3,446 mm (8月11日16時から19 mm下降)	O.P.+ 3,293 mm (8月11日16時から4 mm下降)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 3,982 mm (初期値からの増加量5,199 mm, 8月11日16時から33 mm上昇) O.P.+ 3,376 mm (初期値からの増加量4,102 mm, 8月11日16時から314 mm下降) O.P.+ 4,275 mm (床面からの水位479 mm, 8月11日16時から1 mm上昇)		
滞留水の移送状況		1号機	2号機	3号機	4号機
				3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設（プロセス主建屋） 移送実施中 (8月11日9時55分～)	
		5・6号機			
水処理設備の運転状況		セシウム吸着装置 : 8月7日10時40分～ 運転中 第二セシウム吸着装置（サリー） : 8月11日23時23分～ 運転中 淡水化装置（逆浸透膜） : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置（蒸発濃縮） : 水バランスをみて断続運転			
その他特記事項		* 第二セシウム吸着装置（サリー）において、フィルタの洗浄および信頼性向上を目的として耐圧ホースを鋼管に取り替えるため、8月7日11時に同装置を一時停止。当該工事が完了したことから、8月11日23時15分同装置を起動し、23時23分に定常流量（約40m ³ /h）に到達。また、今回の停止に併せて8月3日に同装置B系ろ過フィルタの圧力指示伝送器の配管取り付け部で確認された水にじみの原因調査を実施した結果、原因は圧力指示伝送器配管取り付け部のすきま腐食であることが判明。そのため、にじみが確認された圧力指示伝送器を含む同装置内の全ての圧力指示伝送器を耐食性の高いものへ交換し、バイパス運転を解除した上で同装置を起動している。			

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。